

西中だより

☀ 学校教育目標「『なりたい自分』になる力をつける」 ☀

四條畷市立四條畷西中学校

令和 7 年 5 月 12 日

No. 3

単元テストが始まりました！

5 月 9 日（金）、今年度初めての単元テストを行いました。

中学校で初めて「テストの時間」を経験した 1 年生。緊張感のたどよう中、「始めてください」という先生の合図とともに真剣な表情で問題用紙を表にめくっていました。この緊張感を 3 年間大切に覚えていてほしいと思います。



さて、この同じ時間、2 年生は授業、3 年生も単元テストでした。テストでも授業でも、その時間をどう過ごすかであなたの未来はきっと変わります。

どの学年も、「なりたい自分」に向けて着実に学びを積み上げましょう！

西中のテストについて

「西中はなぜ定期テストでなくて単元テストなのですか」というお問い合わせをいただくことがあります。

西中が単元テストを取り入れたのはコロナ禍だった令和 2 年度。授業時数を十分確保するための手立てとしてはじめてのがきっかけでした。また、そのころの生徒アンケートの結果では「自分で計画を立てて勉強している」と答えた生徒が半数以下であるなど、全体としてスケジュールやすべきことなどの自己管理の面でも課題が大きく、それができる力をつけなければならないと考えたからでもありました。

では、コロナ禍が過ぎても

単元テストをしているのはなぜ？

それは、

①単元テストになってから、先ほどのアンケート結果はいくぶん改善が見られたものの、携帯電話を使っている時間がとてもとても長く、「もう大丈夫！」と思える状態ではない。↑

お家でもご指導と管理をお願いします。

②授業時数にゆとりがあるため、クラブや行事の取り組みなどの時間を確保しやすい。

③生徒アンケートによると、まとまった範囲を勉強する定期テストより単元テストの方が勉強しやすいと思っている生徒が多い。

④少しずつ着実に学習内容を理解するため。などの理由があります。

西中の教育がめざしていること

総合的に生徒の成長を促しつつ、西中が今年度特に中心に据えているのは「学力向上」です。

先ほどの課題をふまえて、生徒に「見通しをもって主体的に学習に向かい、ねばり強く取り組む力」をつけるため、どの授業でも単元の学習計画と学習のめあてを生徒と共有し、生徒が自分の学習状況を振り返って自己調整することで、学習内容の定着につなげたいと考えています。また、「夢ノート」に「なりたい自分」の姿や「やることリスト」、振り返りなどを書き、一定期間をおいて自分の成長ぶりを振り返る取り組みもしています。

大人として自立するためには、自分で考え、判断して管理する力も重要です。

単元ごとに学習の定着を確認する「単元テスト」は、生徒にとって目標であり成果の確認であり、また、次の学習につながる節目とするものなのです。

※西中 HP の「グランドデザイン」もご参照ください。

とは言うものの…

「単元テストだけで、まとまったテストがないのが不安…」という保護者の方のお声もいまだに聞こえてきます。

西中では、まとまったテストとして、全国や大阪府、四條畷市が実施するものも含めて以下のものを行っています。

【1年】

4月 NRT（全国標準学力調査）

9月 定着確認テスト

1月 大阪府中学生チャレンジテスト

2月 定着確認テスト

【2年】

4月 NRT（全国標準学力調査）

9月 実力テスト

1月 大阪府中学生チャレンジテスト

2月 定着確認テスト

【3年】

4月 NRT（全国標準学力調査）

全国学力・学習状況調査

8月 実力テスト

9月 大阪府中学生チャレンジテスト

11月 実力テスト

1月 実力テスト（市内中学校共通）

※定着確認テスト：当該学年で学習した範囲から出題します。

※実力テスト：下学年での学習内容も範囲に含んで出題します。

定着確認テスト・実力テスト前1週間は、原則クラブ活動を停止し、学習に集中できるように配慮しています。

まとまった範囲のテストは、単元テストと同じように学習内容の定着の様子をみとめるためのものもありますが、入試に向けた練習でもあります。

単元テストの復習をこまめにしながら、大きなテストでもしっかり実力を発揮できるよう、日ごころからの積み重ねを大切にしてください。

単元テストでは学力がさがる??

「単元テストでは学力がさがる」というようなお話をうかがうこともあります。

学校としてはこれまでさまざまなテスト結果等を公表していないので、そのお話の根拠がどこにあるのかはわかりません。一方、単元テストを始めてからも引き続き全国や大阪府等が実施する公のテストのデータも使って確認を続けていますが、単元テストを始めてから学校全体として学力がさがったと判断しなければならないような結果は見受けられません。

いずれにせよ、単元テストを含むテストを、500人の生徒それぞれのがんばりをしっかり支え、応援する機会としてとらえてほしいと思います。

「なりたい自分」に向かって

「夢ノートキャンペーン」をしました

3階の調理室と第二理科室の間の壁に、上手に使えていた「夢ノート」を掲示しています。「夢ノート」をどんなふうに使えばいいのか、いろいろな人の工夫を見ることができます。ぜひ参考にしてください。しっかり活用していけば、1年後、2年後に今の自分が書いたものを見返したとき、自分の成長を感じてきっとやる気が出てきますよ！

